



意匠委員会 (委員数25名/担当：福岡常務理事)

◆ 活動方針

会員企業にとって適切な権利の取得・行使ができるような意匠法制度となるよう調査研究を行い、各国の特許庁への意見提案および情報発信を行う。

テーマ研究では、各委員が日頃の業務に役立つアウトプットを出すことを目標とする。

◆ 委員構成 25名 (前年度29名)

委員長:神田 (ヤマハ)

第1小委員会 (国内意匠担当) WG1 8名 倉田小委員長/WGリーダー (王子HD)
WG2 8名 相原WGリーダー (キヤノン)

第2小委員会 (外国意匠担当) 8名 大久保小委員長 (富士通)

◆ 活動内容

- ・全体会議 1回/隔月 ※WEB会議のため、全体会議は隔月での開催
- ・小委員会活動 1回/月 ※事前正副委員長会 1回/月
- ・内外国の意匠制度についての要望・意見提出
- ・WIPOハーグ作業部会への参加予定 (12/14-16)
- ・意匠5庁会合 (ID5) への参加予定 (未定)
- ・弁理士会、他の業界団体との意見交換 (JAFBICは本年度は中止)
- ・委員派遣：産構審意匠制度小委員会意匠審査基準WG,
特許庁審判実務者研究会,同審査応用力研修など





意匠委員会 第1小委員会

◆ テーマ：改正意匠法の活用についての調査研究

第1小委員会WG1

狙い	イノベーション創出やブランド構築を目的とした改正意匠法が、ユーザーのニーズに合った制度となっているのかを検証しつつ、具体的な仮想事例等を用いて意匠の有効性を示すことで、意匠の活用を促すことを目的とする。
概要	1) 改正意匠法の整理 2) 改正意匠法を活用した事例構築および検討 3) 改正意匠法の課題の調査
アウトプット	知財管理誌の論説を予定

第1小委員会WG2

狙い	意匠法改正に伴い保護が拡充された“関連意匠”及び“画像を含む意匠”について検討を行い、有効的な活用および実務上の留意点に関する調査研究を行い、会員企業に対して、実務目線からの有用な情報発信を行う。	
概要	関連意匠	<ul style="list-style-type: none"> ・関連意匠出願戦略の検討 ・関連意匠群の維持と管理、および放棄による影響とデメリットの検討
	画像意匠	<ul style="list-style-type: none"> ・「表示画像」及び「操作画像」の保護対象・出願に関する検討 ・アイコン/GUIの構成部品のみ出願・クリアランスに関する検討
アウトプット	知財管理誌のQ&Aを検討	





意匠委員会 第2小委員会

◆ テーマ：各国意匠制度における制度・手続き上の相違点および外国出願における実務に関する調査研究

第2小委員会		
狙い	テーマ研究	各国で経験した困りごと、獲得できたノウハウなどを持ち寄って分析し、各意匠制度の相違点も踏まえた効果的な出願を検討することで、各社の権利化戦略の一助とする。
	意見発信	各国法制度や実務上の課題の研究、過去のパブコメ内容の整理、国際会議でのロビー活動のノウハウ承継などを行うことで、急なパブコメ対応や国際会議でのアピールを可能にし、加盟各社に資する意匠制度を実現するとともに意匠委員会のプレゼンス向上にも寄与する。
概要	意匠権制度の異なる海外への出願方針の検討	
アウトプット	出願戦略取り纏め一覧の作成もしくは知財管理誌の論考など	
意見発信 9/16時点		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 台湾の公告繰り延べおよび審査遅延制度の利用についての報告書提出（アジア戦略PJ連携） 2. 中国・韓国・台湾要望書作成（アジア戦略PJ連携） 3. WIPOハーグアンケート提出（公開時期6ヶ月→12カ月について） 4. 専利法改正案および最高人民法院関連に対する意見提出（アジア戦略PJ連携） 5. シンガポール意見書提出 		

